

Operation Manual

# Operation Manual

取扱説明書

取扱説明書

## ラフテレーンクレーン GR-700N

型式記号：GR-700N-1  
適用製造番号：FE0783～

この取扱説明書を読んでから操作してください。  
この取扱説明書はいつでも読めるよう、運転室内に保管してください。

GR-700N-1\_OM3-18J

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: [www.heydownloads.com](http://www.heydownloads.com) by clicking the link below



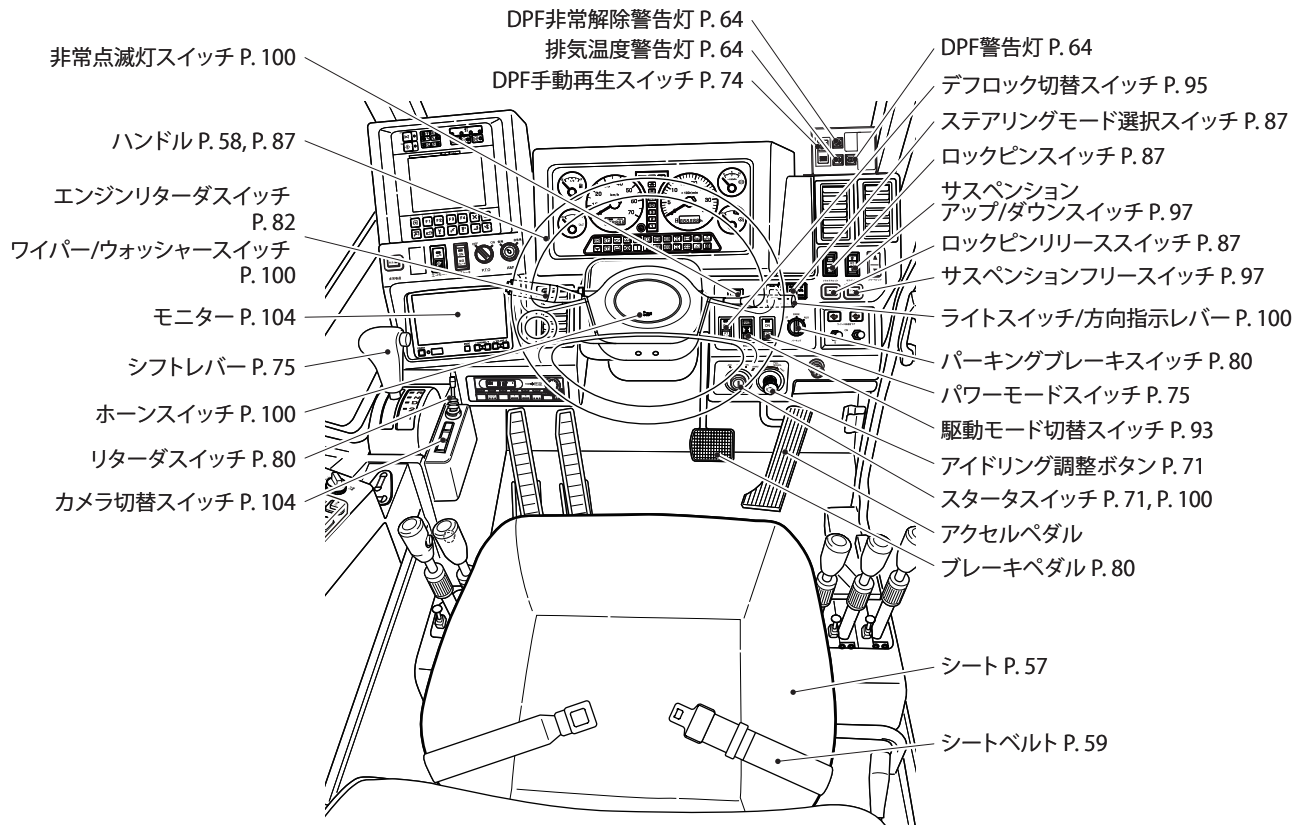
- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

## イラスト目次

## 走行操作装置

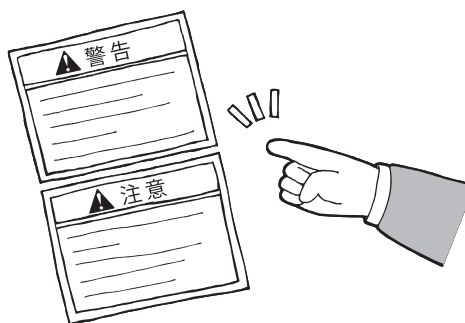
## 運転室内



K11416-00J

## •警告ラベル（銘板）の扱い

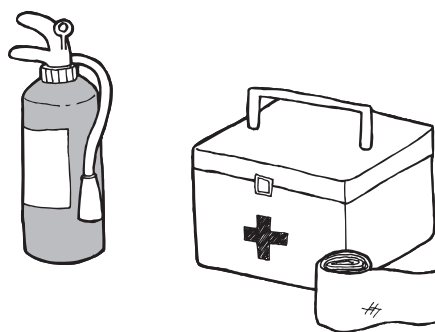
機械の各部に貼られている警告ラベル（銘板）は、機械を使用するうえでの重要な注意事項などを説明しています。警告ラベル（銘板）はいつもきれいにし、読める状態にしておいてください。警告ラベルが無くなったり破損しているものがあれば、タダノ代理店または販売店に注文して取り付けてください。



G05003-00J

## •万一に対する備えを

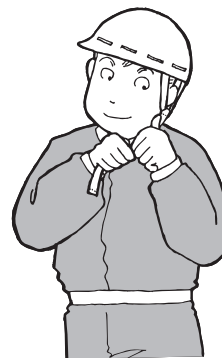
万一の事故や火災に対して、救急箱や消火器の保管場所や使用方法を知っておいてください。また、緊急時の連絡先や連絡方法などについて決めておいてください。



G05004-000

## •安全な服装で

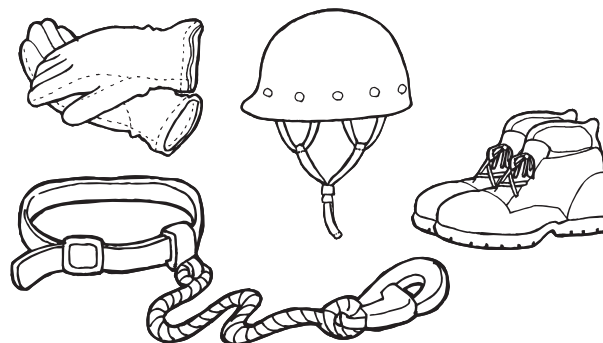
乱れた服装をしていると、上着の裾や袖口が機械の突起物や操作レバーなどに引っかかり、思わぬ事故を起こすことがあります。きちんとした服装をしてください。



G05005-000

## •保護具を着用する

安全のため、ヘルメット・安全靴・保護手袋などの保護具を、作業時に着用してください。高所（2m以上）での作業時は、安全帯を着用してください。

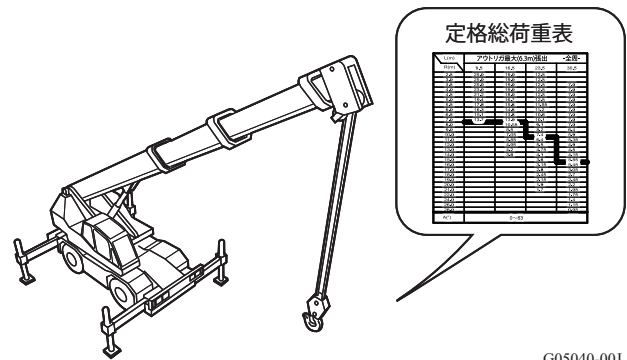


G05006-000

## ・作業条件を守る

アウトリガ張出幅・ブーム長さ・作業半径などを、定格総荷重表に示されていない状態にして作業を行うと、場合によっては荷をつらなくても機械が転倒することがあります。

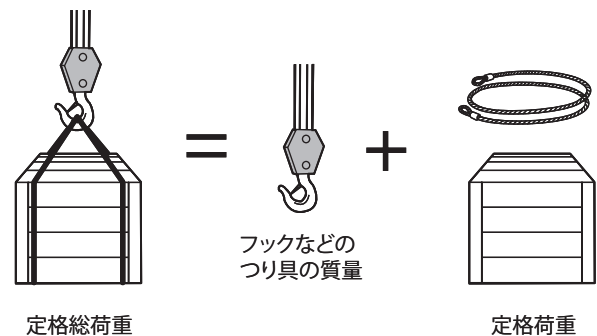
定格総荷重表の作業条件を順守して作業してください。



G05040-00J

## ・定格総荷重を超えるクレーン作業の禁止

定格総荷重を超える質量の荷をつると過負荷になり、機械の損傷や転倒事故の原因になります。荷をつり上げる前に、定格総荷重を確認してください。定格総荷重はブーム長さや作業半径などにより異なります。どのようなときでも、定格総荷重表に示された値を超える荷はつらないでください。

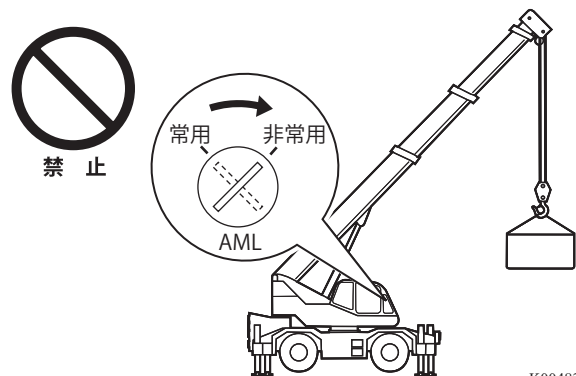


G05041-00J

## ・安全装置は正しく使用

過負荷防止装置などの安全装置は、取扱説明書に従って正しく使用してください。

安全装置の使い方を誤ったり働きを妨げると、機械の損傷や転倒事故の原因になります。

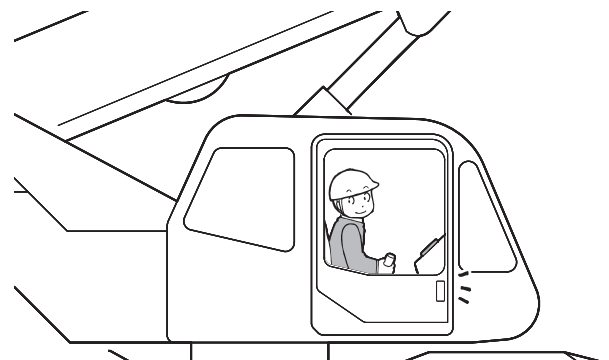


K00483-00J

## ・騒音対策をする

騒音による障害を防止するため運転席のドア、および窓を閉めてクレーン作業をしてください。

また、運転席外で作業をするときは、必要に応じて耳栓などの聴覚保護具を使用してください。



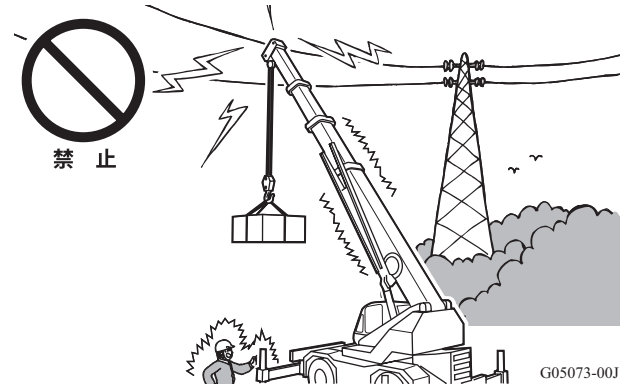
K06863-000

## ・感電事故に注意

電圧によっては電線に接近しただけで感電することがあります。やむを得ず送電線や配電線の近くで作業を行うときは、次の予防措置を講じてください。

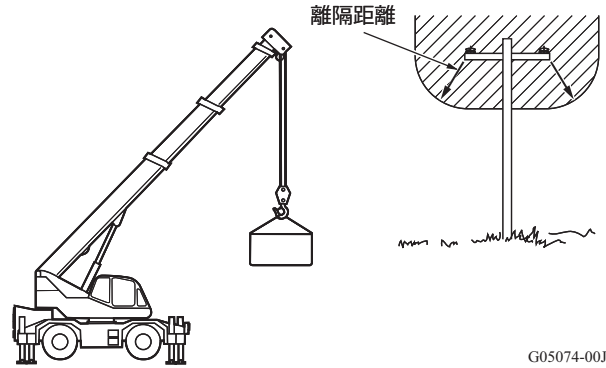
(参考：日本の電力会社の目標値 離隔距離)

電圧		離隔距離
低圧	100V, 200V	2m
高圧	6,600V	
特別高圧	22,000V	3m
	66,000V	4m
	154,000V	5m
	187,000V	7m
	275,000V	10m
	500,000V	11m



G05073-00J

- ・あらかじめ電力会社と打ち合わせを十分に行い、安全上必要な対策を講じてください。
- ・玉掛け者などの作業関係者には、ゴムや革材の靴を履かせてください。
- ・常に機械やつり荷を、定められた離隔距離以上に電線から離して作業してください。
- ・専任の監視員を配置して、機械やつり荷が電線に近づいたり、作業関係者以外の人立ち入らないようにしてください。
- ・地上の作業者は、機械やつり荷に触れないようにしてください。つり荷を制御する必要があるときは、乾いた繊維ロープをガイドロープとして荷に取り付け、荷の回転や荷振れを防止してください。
- ・電線の下や、電源の近くには荷を置かないでください。
- ・機械の操作は細心の注意を払い、ゆっくりと慎重に行ってください。



G05074-00J

万一感電したときは、あわてずに次の措置を講じてください。

- ・運転者は、あわてずにゆっくりと機械を運転し、機械やつり荷を安全な離隔距離以上に電線から離れた後、運転室から脱出してください。
- ・機械が損傷し、機械を動かすことができなくなった場合は、送電が停止されるまで運転席に座っているのが最も安全です。これが不可能なときは、機体からできるだけ遠くへ飛び降りてください。機体に触れたまま降りると感電して危険です。
- ・二次災害防止のため、機械周辺の関係者を退避させるとともに、帯電したままの機械やつり荷に誰も近づけないよう、十分な監視を行ってください。
- ・電力会社に連絡し、送電の停止や緊急処置などの指示を受けてください。
- ・事故後はタダノ代理店または販売店に事故があったことを連絡し、その後の処置や点検・修理についてご相談ください。

# MEMO

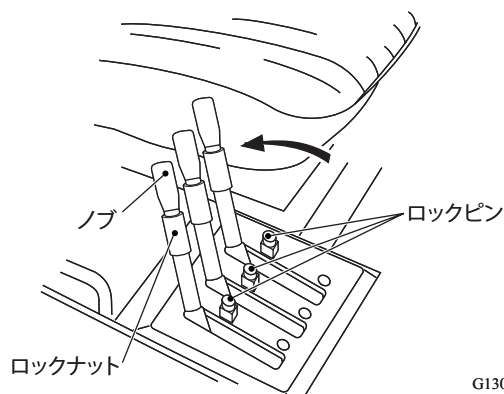
## 操作レバーの格納

### ⚠ 警告

運転室への乗降時に操作レバーに触れると、クレーンが動いて事故の原因になります。クレーン作業終了時は、すべての操作レバーをロックし、後方に倒してください。

運転室への乗降および走行前には、すべての操作レバーを格納します。

1. ロックピンを入れます。
2. ロックナットを左に回して緩めます。
3. ノブを押し込み、操作レバーを最短の長さにします。
4. レバーを下方に押し込んで、後方に倒します。



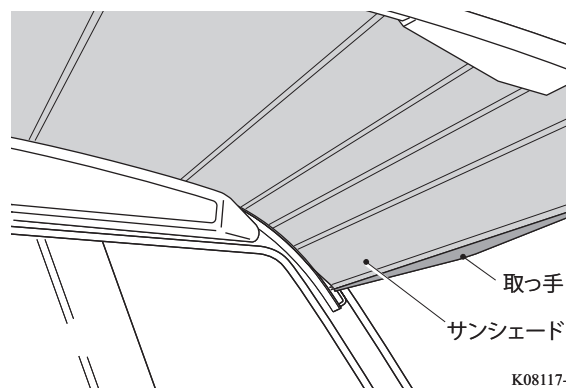
G13012-00J

## サンシェード

日差しがまぶしいときに使用します。

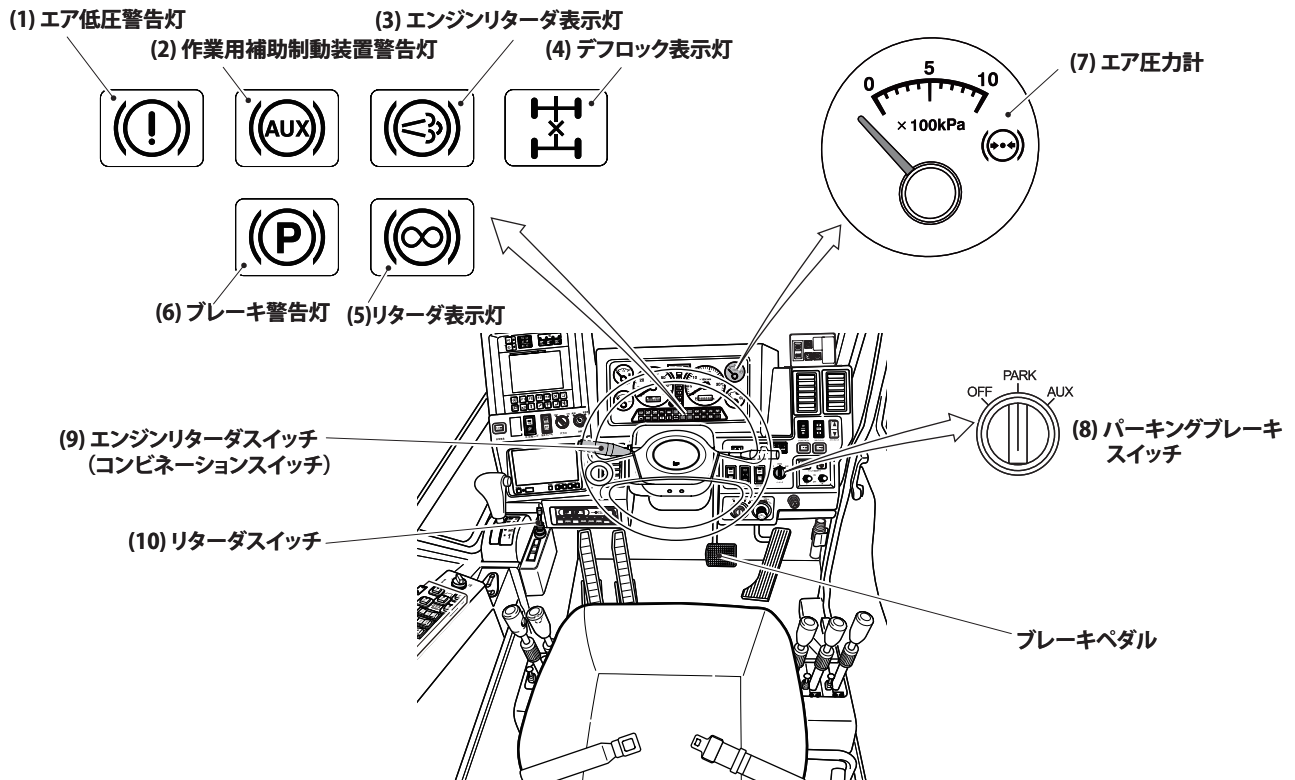
引き出すときは先端にある取っ手を持ち、スライドさせます。

収納するときは、少し引き出してから戻します。



K08117-00J

エラーコード	警告灯／ブザー	クレーンの状態	操作上の注意
F303	作業用補助制動装置警告灯が点滅 警報ブザー:連続音(高音)	パーキングブレーキスイッチが「AUX」の位置のまま1時間程度経過したとき	パーキングブレーキスイッチを「AUX」以外の位置にしてください。
F304	警報ブザー:連続音(高音)	パーキングブレーキが解放状態で、スタータスイッチを「OFF」にしたとき	パーキングブレーキスイッチを「PARK」の位置にしてください。
F305	警報ブザー:連続音(高音)	2/4WDの駆動切り替えが完了していない状態で走行したとき	車両を停止し、駆動切り替えを完了してください。



K07328-00J

### (1) エア低圧警告灯

エア圧力が低下したときに点灯します。上昇すると消灯します。

### (2) 作業用補助制動装置警告灯

作業用補助制動装置を作動させると点灯します。解除すると消灯します。

### (3) エンジンリターダ表示灯

エンジンリターダを作動させると点灯します。解除すると消灯します。

### (4) デフロック表示灯

パーキングブレーキおよび作業用補助制動装置を作動させると、デフロックも作動して点灯します。解除すると、デフロックも解除されて消灯します。

### (5) リターダ表示灯

リターダを作動させると点灯します。解除すると消灯します。

### (6) ブレーキ警告灯

パーキングブレーキを作動させると点灯します。ブレーキ液量が減少したときも点灯します。

### (7) エア圧力計

エアタンクのエア圧力を示します。

### (8) パーキングブレーキスイッチ

スイッチを「PARK」にするとパーキングブレーキが作動します。「OFF」にすると解除されます。「AUX」にすると、作業用補助制動装置が作動します。

### (9) エンジンリターダスイッチ (コンビネーションスイッチ)

レバーを下に操作するとエンジンリターダ表示灯が点灯します。作動条件が整い、アクセルペダルから足を離すとエンジンリターダが作動します。

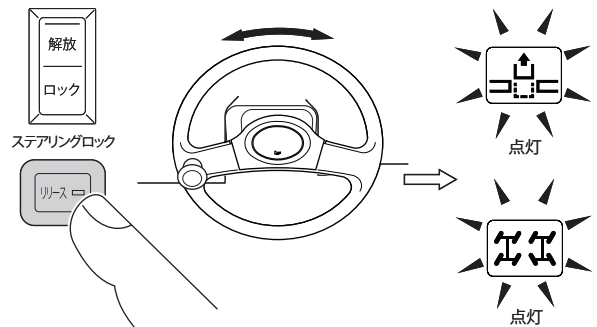
### (10) リターダスイッチ

レバーを手前に引くとリターダ表示灯が点灯します。作動条件が整い、アクセルペダルから足を離すとリターダが作動します。

## ロックピンが抜けないとき

ロックピン警告灯が点滅または消灯しているときは、ロックピンが抜けていません。次の操作を行って、ロックピンを抜いてください。

1. ロックピンリリーススイッチを押したまま、ハンドルを左右にゆっくり回します。
  - ロックピンが抜け、ロックピン警告灯と特殊ステアリング警告灯が点灯します。



K00386-00J

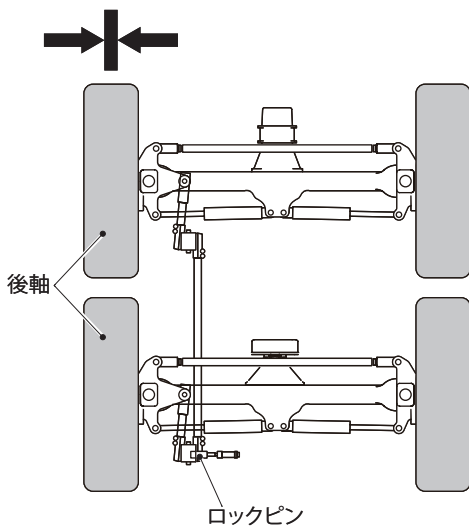
**重要**

ロックピン警告灯が点灯しないときは、点検が必要です。タダノ代理店または販売店に連絡してください。

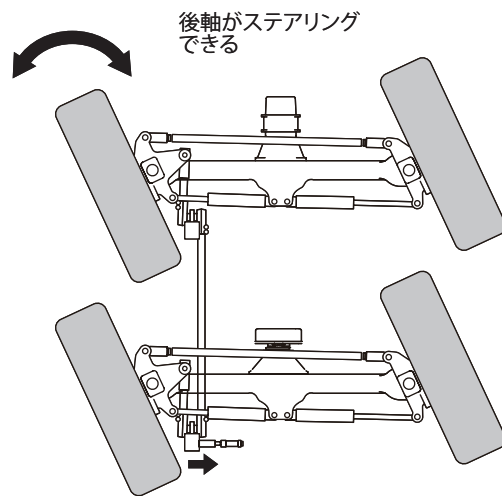
2. 選択したモードのとおりタイヤが切れることを確認します。

☞ ロックピンは後4輪をまっすぐに固定するピンです。

ロックピン「入」



ロックピン「抜」




K00962-00J

## 特殊ステアリングモード間の切り替え

ロックピンが抜けた状態で特殊ステアリングモード間の切り替え（8輪 ⇄ カニ ⇄ リヤ）が可能です。

**▲ 注意**

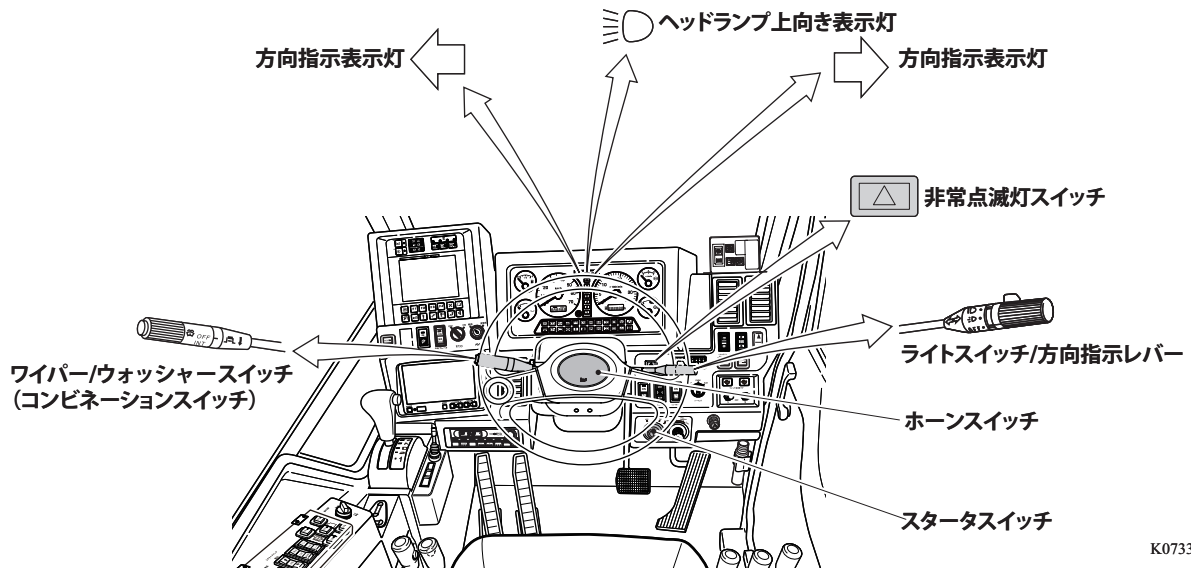
後4輪を右または左に切ったままでステアリングモードを切り替えないでください。  
 モード切り替え後に前4輪と後4輪の切れ角が異なり、ステアリングが正常にできなくなります。  
 ステアリングセンタ表示灯が点灯した状態でスイッチを切り替えてください。



点灯

K00387-00J

## 灯火スイッチなどの操作



K07335-00J

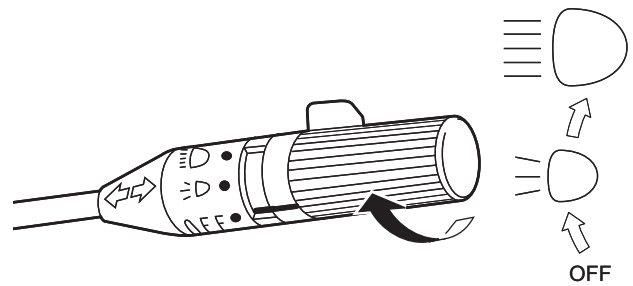
### ライトスイッチ

スタータスイッチが「ON」または「ACC」のとき使用できます。

ライトスイッチのつまみを回すと「☉」、「☉」の位置で、○印のランプが点灯します。

つまみの位置/ スタータスイッチ の位置	スタータ スイッチ 「ON」または 「ACC」	☉	☉
ヘッドランプ	-----	-----	○
車幅灯、尾灯	-----	○	○
番号灯			
長さ表示灯			
路肩灯			
(オプション) (*1)	-----	○	○
マーカーランプ (オプション)	○	○	○
スイッチ照明			
ブーム先端灯			

(\*1) キャリヤ部スイッチがONのとき点灯

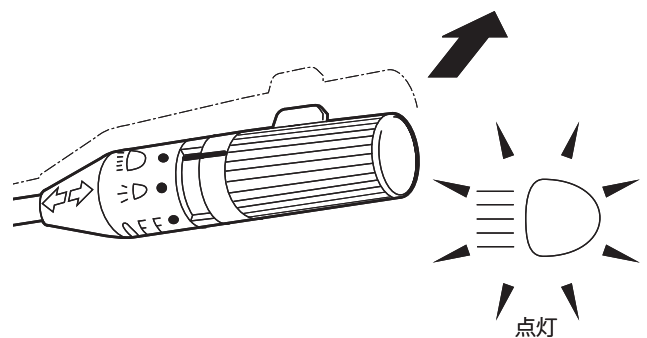


G21002-000

### ヘッドランプを上向きに切り替えるときは

ライトスイッチが「☉」の位置のとき、レバーを前方に押しします。

- メーターパネルのヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



G21003-00J

## 燃料消費モニター

### ▲ 注意

走行中に燃料消費モニターを操作しないでください。  
事故の原因になります。  
また、安全運転に支障がないように十分注意して燃料消費モニターの確認をしてください。

走行時の燃料消費量状態を表示します。

燃料消費モニターの各項目を確認することで、より環境に配慮した省燃費運転が可能になります。

表示する項目は次のとおりです。

- 走行瞬間燃費 ..... 走行時の瞬間燃費をバーグラフで表示します。
- 走行平均燃費 ..... 走行時の平均燃費を km/L で表示します。  
待機画面が表示される、または PTO が ON になるとリセットします。
- 待機時燃料消費量..... 待機時の燃料消費量 (L) を表示します。
- 待機時間 ..... 待機時間 (min) を表示します。

☞ 待機時とは車両が停止し、シフトレバーが「N」になっている状態です。

☞ 待機時燃料消費量および待機時間は、待機時の開始から一定時間が経過すると表示します。

☞ 表示される数値は、走行状況によっては実際の数値と異なる場合があります。  
燃料の残量は燃料計で確認してください。

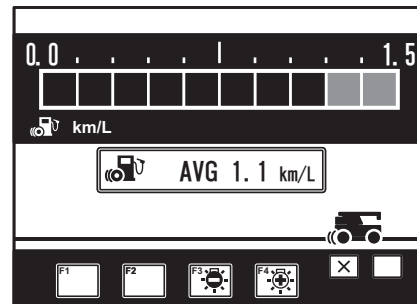
燃料消費モニターは、常に表示されます。

夜間に燃料消費モニターを見るときは、AML 操作部のいずれかのキースイッチを押して、バックライトを点灯させます。キャンセルキーを押すと消灯します。

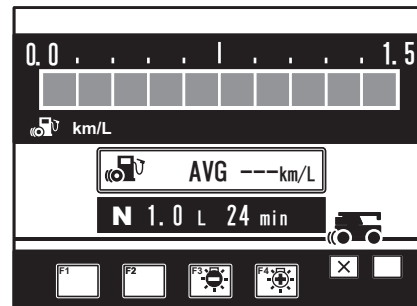
なお、バックライト点灯時、スモールライトの OFF-ON に連動して消灯 - 再点灯します。

☞ バックライト点灯中は、画面の明るさを調整可能です。

走行時



待機時



K04938-00J

# MEMO

定格総荷重表にないブーム長さでクレーン作業を行うときは AML の定格総荷重表示を見てください。  
 ブーム長さが定格総荷重表で表示している長さを超えると、表示長さの定格総荷重と一段上のブーム長さの定格総荷重を比較して、小さい方の定格総荷重を目安にしてください。

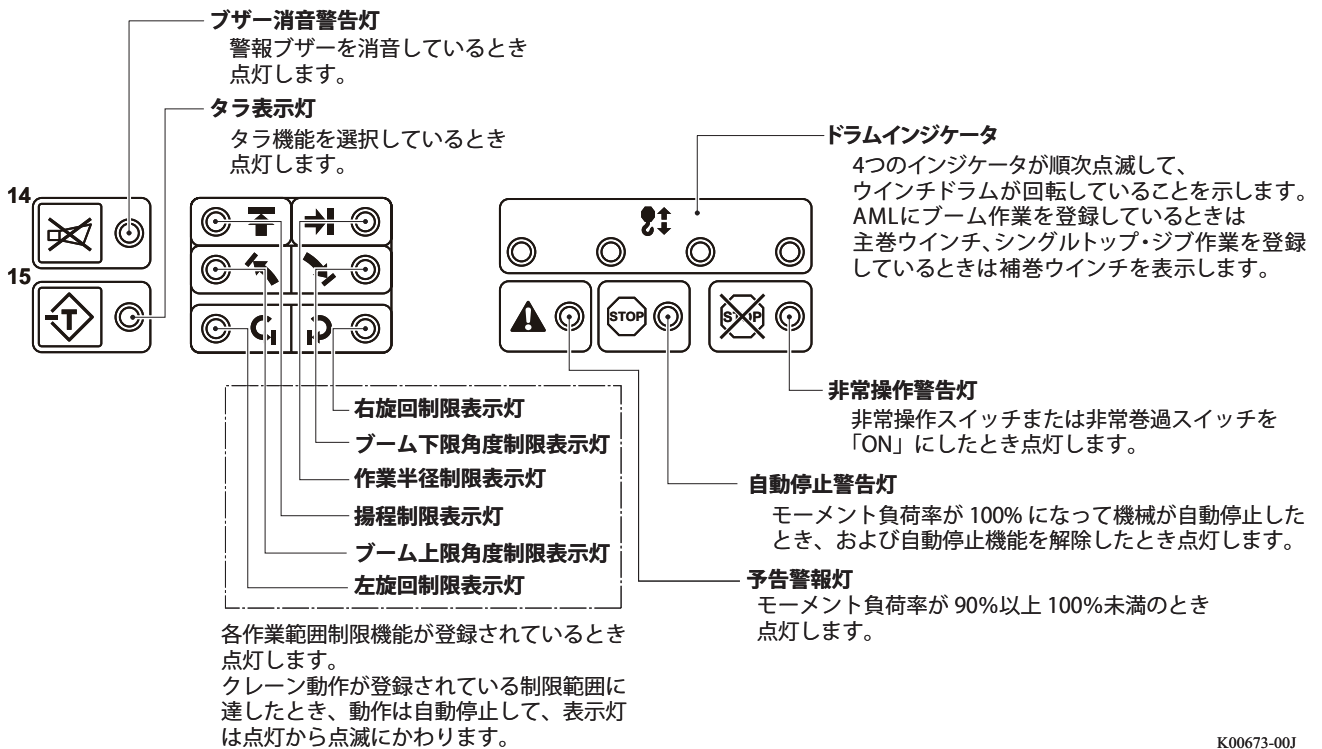
R(m) 作業半径	L(m)	アウトリガ最大(7.6m)張出					-全周-		(単位:t)
	R(m)	※ 9.8	16.6	23.5	30.3	37.2	41.2	44.0	L(m):ブーム長さ
2.1		70.0							
2.8		60.0	32.0	24.0	12.5				
3.0		56.5	32.0	24.0	12.5				
3.5		51.9	32.0	24.0	12.5	12.0			
4.0		48.6	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0		
4.5		44.3	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0	8.2	
5.0		39.5	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0	8.2	
5.5		35.7	32.0	24.0	12.5	12.0	10.0	8.2	
6.0		32.5	31.3	22.9	12.5	12.0	10.0	8.2	
6.5		29.4	29.1	21.4	12.5	12.0	10.0	8.2	
7.0			26.4	20.1	12.5	12.0	10.0	8.2	
8.0			22.0	17.9	12.5	12.0	10.0	8.2	
9.0			17.3	16.0	12.5	12.0	10.0	8.2	
10.0			14.5	13.3	12.5	12.0	10.0	8.2	
11.0			12.0	11.0	12.3	11.1	10.0	8.2	
12.0			10.0	9.5	10.3	10.3	9.4	8.2	
13.0			8.45	8.3	9.2	9.4	8.75	8.0	
14.0				7.05	8.0	8.1	8.1	7.55	
16.0				5.1	6.0	6.5	6.4	6.7	
18.0				3.7	4.55	5.05	5.25	5.3	
20.0				2.7	3.5	3.95	4.15	4.3	
22.0					2.65	3.1	3.3	3.4	
24.0					2.0	2.45	2.6	2.7	
26.0					1.4	1.9	2.05	2.15	
27.0					1.15	1.65	1.8	1.9	
28.0						1.4	1.6	1.7	
30.0						0.95	1.2	1.3	
32.0						0.6	0.8	0.9	
33.0							0.65	0.75	
34.0							0.5	0.6	
A(°)		0~84 (※65)				14~84	30~84	37~84	
標準フック	35トンフック×2	35トンフック							

※は重荷重装置付の値です。

K08843-01J

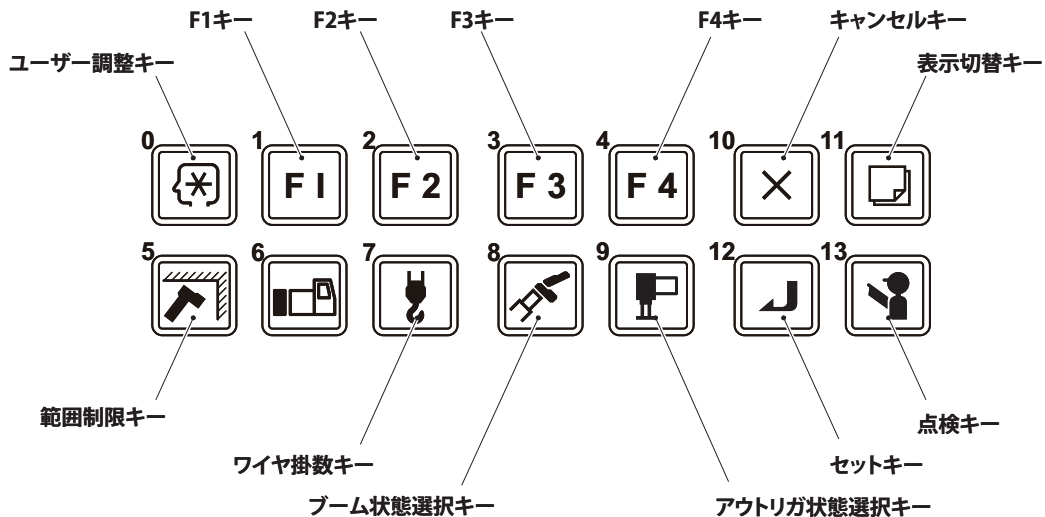
図は定格総荷重の表の一例です。実際の値は運転室内にある定格総荷重表を見てください。

## LED 表示部



K00673-00J

## 操作部

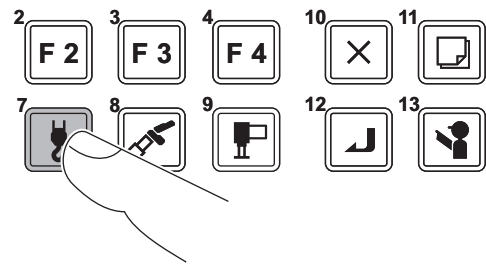


K00674-00J

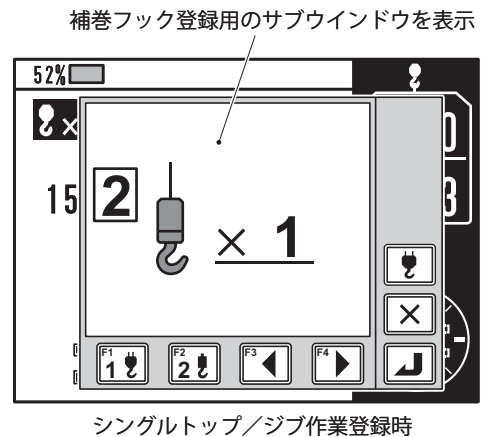
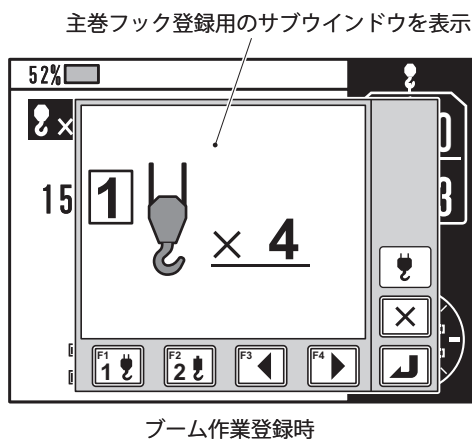
## 9. ワイヤ掛数キーを押して、使用するワイヤ巻掛本数を登録します。

- 表示パネルにワイヤ巻掛本数登録用のサブウインドウを表示します。ワイヤ掛数キーを押すごとに、ワイヤ巻掛本数が切り替わります。

登録したブーム状態によって、自動的にフックを表示します。登録したいフックになっていないときは、F1（主巻フック）キーを押して表示を切り替えてください。

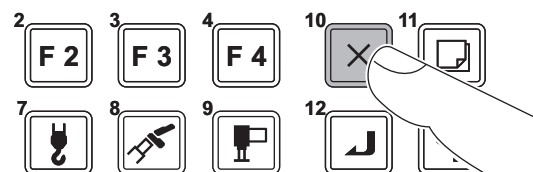


K00684-000



K00685-00J

- 機種ごとに決められたワイヤ巻掛本数以外は登録できません。
- ワイヤ掛数キーの代わりに F3（戻り）キーまたは F4（送り）キーを押しても、ワイヤ巻掛本数を切り替えることができます。
- ワイヤ巻掛本数を正しく登録しないと、フック移動量が正しく表示されません。
- 登録を中断するときは、キャンセルキーを押してください。サブウインドウを閉じて、登録前のクレーン作業状態に戻ります。



K00680-000

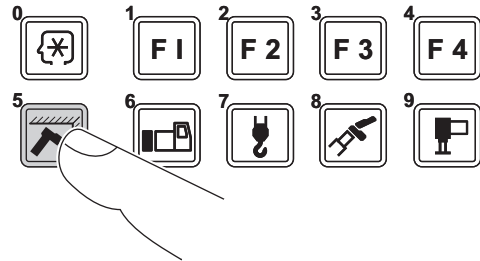
## 旋回範囲制限機能の登録

### 1. 範囲制限キーを押して、登録する側の項目（左旋回制限または右旋回制限）を選択します。

- 選択した項目のシンボルが点滅します。
- 範囲制限キーを押すごとに、選択する項目が次の順に切り替わります。

1. 揚程制限
2. 作業半径制限
3. ブーム上限角度制限
4. ブーム下限角度制限
5. 左旋回制限
6. 右旋回制限

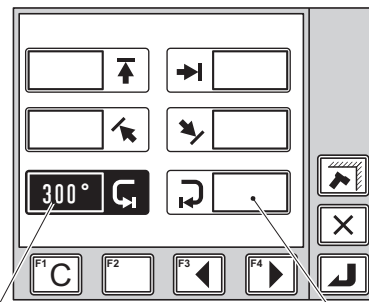
- 右図は「左旋回制限」を選択しているときの表示例です。



K00696-000

- ☞ 範囲制限キーの代わりにF3（戻り）キーまたはF4（送り）キーを押しても、選択する項目を切り替えることができます。

- ☞ 登録を中断するときは、キャンセルキーを押してください。サブウィンドウを閉じて、登録前のクレーン作業状態に戻ります。



左旋回制限が反転表示。  
現在の旋回角度を表示。

右旋回制限

K00698-00J

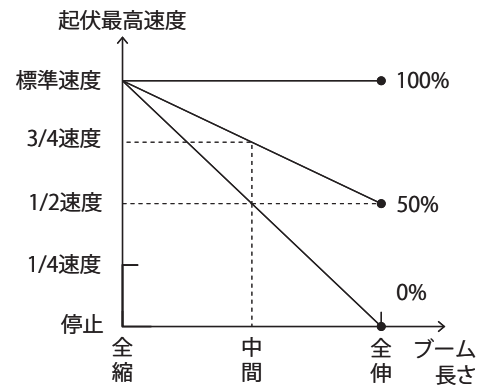
## 起伏速度調整機能

同じ起伏操作をしても、ブームが長くなるほどブーム先端の速度は速くなり、つり荷の動きも速くなります。起伏速度調整は、ブーム伸長時の起伏最高速度を調整する機能です。

## 起伏速度調整時の動作速度

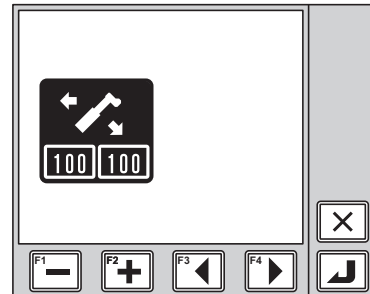
起伏速度調整値はブーム全伸時の速度制限値です。ブーム全縮のときは標準速度で動作します。調整値と起伏動作速度は、次のようになります。

ブーム長さ 調整値	全縮	全縮と全伸 の中間 (1/2)	全伸
0%	標準速度	標準速度の 1/2	停止 (ほとんど動作しない)
50%	標準速度	標準速度の 3/4	標準速度の 1/2
100%	標準速度	標準速度	標準速度



## 起伏速度調整操作

- 起伏速度調整機能メニューを選択し、セットキーを押します。
  - 表示パネルに起伏速度調整用のサブウィンドウを表示します。



K00704-000

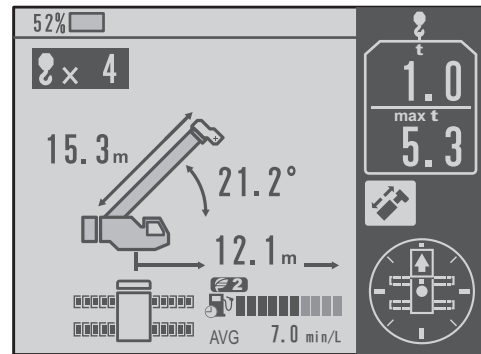
## (7) バックライト点灯（消灯）機能

ライトスイッチが OFF 状態のときに AML のバックライトを点灯（消灯）させることができます。

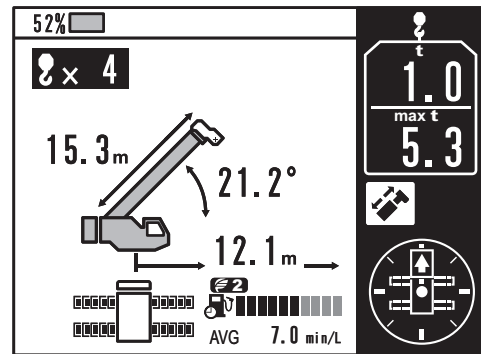
F2 キーを長押しすると AML のバックライトが点灯

します。  
もう一度、F2 キーを長押しするとバックライトが消灯

バックライト消灯状態



バックライト点灯状態



K07735-00J

## アウトリガの設置

### 警告

- 設置場所の選定を誤ると、地盤が陥没して機械が転倒します。機械は水平で堅固な地盤の上に設置してください。
- 傾斜地では運転室外でのアウトリガ操作前に、タイヤに歯止めをしていることを確認してください。機械が動くと事故の恐れがあります。
- 機械が水平に設置されていないと、傾斜の低い方向に旋回したときに作業半径が増し、転倒事故につながります。アウトリガ設置時は、水準器で確認して水平に設置してください。
- アウトリガを設置したとき、タイヤが地面から浮いていないと、タイヤの反力を受けて機械の安定性が低下し、転倒事故につながります。タイヤが地面から浮かないときは、敷板を使用してタイヤが浮くようにアウトリガを設置してください。
- アウトリガの張出幅が小さいと、機械の安定性が低下し、転倒事故につながります。アウトリガを最大に張り出して設置することを原則にしてください。

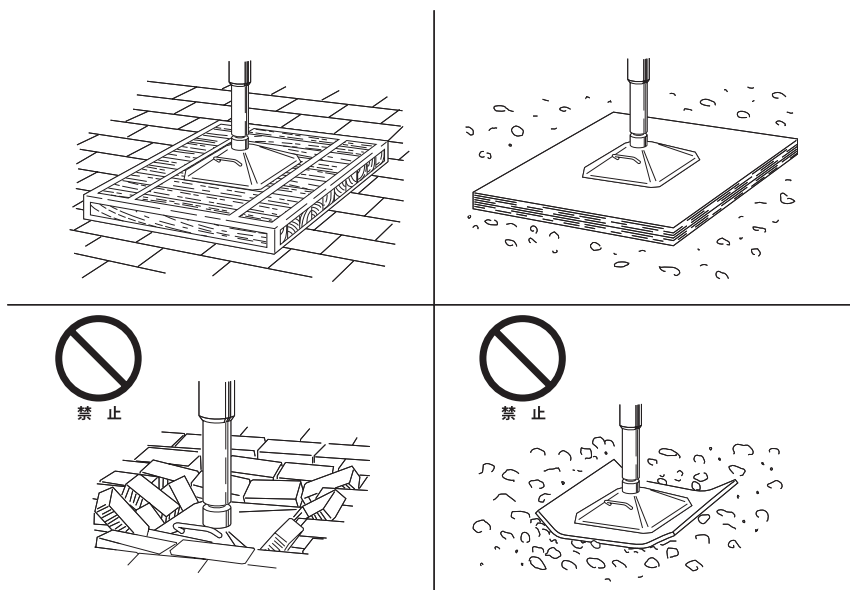
安全なクレーン作業を行うためには、機械本体とつり荷の重量を支えることができる水平で堅固な地盤の上にアウトリガを設置することが重要です。

軟弱地、傾斜地および凹凸地では、次に示す処置により地盤が養生され、十分に強度があることを確認してからアウトリガを設置してください。

- 機械が水平に設置できるように地盤が整地されている。
- 地盤の状態に合った面積と十分な強度がある敷板（標準装備品）を敷いている。

また、一見堅そうに見える地盤でも、内部の状態によっては機械を支えることができない場合があります。次に示すような地盤に対しては十分注意を払う必要があります。

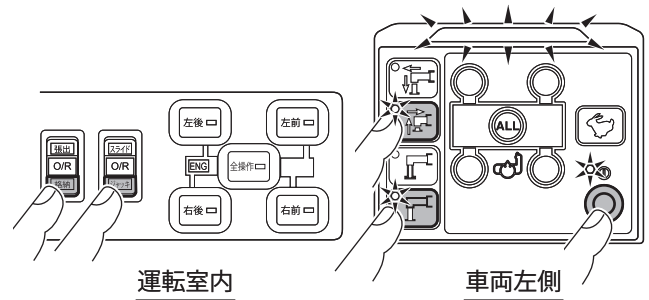
- 簡易舗装の路面
- 歩道等の敷石路面
- 掘削工事後に埋め戻した跡地
- 埋立地
- 路肩や掘削穴の周辺



G37004-00J

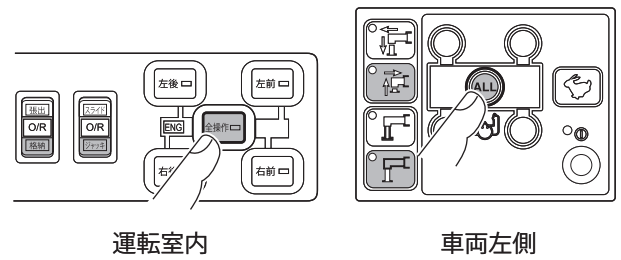
3. ジャッキ／スライド選択スイッチを「ジャッキ」に、張出／格納選択スイッチを「格納」にします。アウトリガ操作ボックスを使う場合は、電源スイッチを「ON」にして格納スイッチとジャッキスイッチを押します。

- 電源表示灯と照明灯が消灯します。
- 格納スイッチとジャッキスイッチの表示灯が点灯します。



K06592-00J

4. アウトリガ全操作スイッチを押して、すべてのジャッキを完全に格納します。

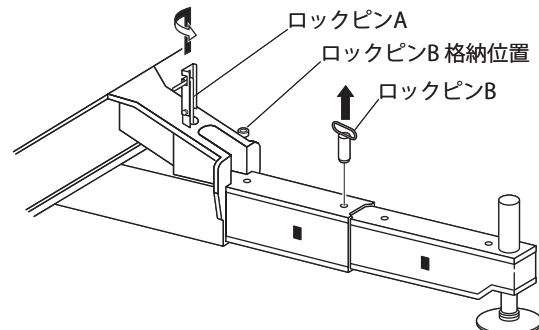


K06597-00J

5. ロックピン A および B を 4 本とも抜きます。ロックピン B を格納位置に格納し、スナップピンで固定します。

### 重要

ロックピンを入れた状態でアウトリガビームを格納すると、ロックピンやアウトリガビームを損傷します。ロックピンは確実に格納位置に格納してください。

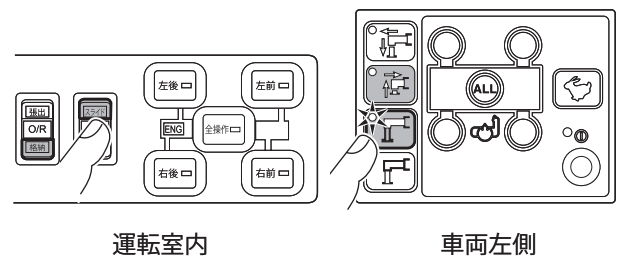


K00994-00J

6. ジャッキ／スライド選択スイッチを「スライド」にします。

アウトリガ操作ボックスを使う場合は、スライドスイッチを押します。

- スライドスイッチの表示灯が点灯します。



K06594-00J

## 巻き上げ／巻き下げ操作

### 警告

ウインチ操作による荷の横引きおよび引き込みは禁止します。転倒事故や機械を損傷する原因になります。

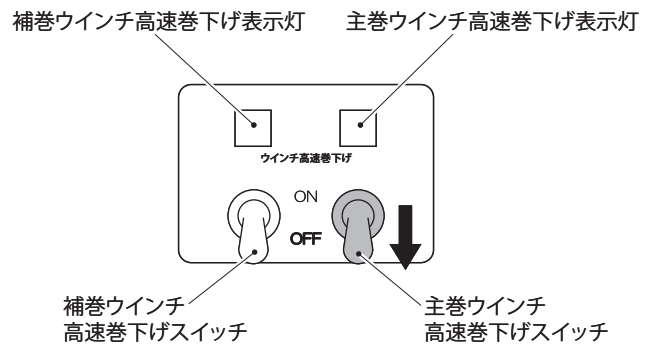
### 重要

地切り時に、ブームのたわみにより作業半径が増し、過負荷になることがあります。荷重を減らすか、作業半径が減らせる場所に機械を移動してください。

巻き上げ／巻き下げ操作はウインチレバー、ウインチ高速巻き下げスイッチを操作して行います。ウインチ速度の調整は、ウインチレバーの操作量およびアクセル操作で行います。

### 主巻ウインチ操作

1. 主巻ウインチ高速巻き下げスイッチが「OFF」になっていることを確認します。
  - 主巻ウインチ高速巻き下げ表示灯が消灯しています。

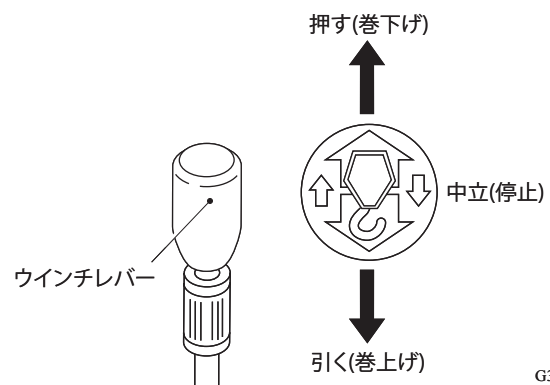


G39002-02J

2. 主巻ウインチレバーを操作して巻き上げ・巻き下げを行います。
  - 巻き下げ……………レバーを前方に押す
  - 停止……………レバーを中立位置に戻す
  - 巻き上げ……………レバーを手前に引く

### 警告

急激なレバー操作は荷がはずんだり、振れたりして、人身事故や機械を損傷する原因になります。レバーはゆっくり操作してください。



G39504-00J

### 補巻ウインチ操作

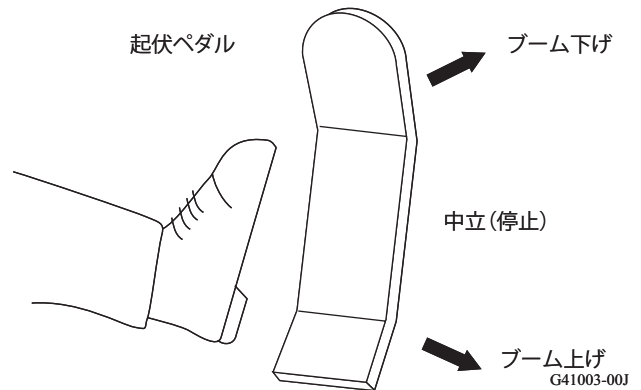
主巻ウインチ操作と同じ要領で行います。

主巻ウインチの手順を参照し、それぞれのレバーおよびスイッチ類を補巻ウインチに置き換えて操作します。

## 起伏ペダル（タダノ配列）

起伏レバーの補助のために使用してください。

☐☑起伏レバーと起伏ペダルは連動しています。



## 起伏緩停止／解除操作

### 重要

起伏緩停止機能を無効にしたときは、自動停止時に荷振れが発生して、機械を損傷する恐れがあります。レバーはゆっくり操作してください。

ブーム起伏停止の際に、ブーム起伏速度を減速させることで、荷振れを緩和する機能です。

起伏緩停止／解除操作の手順は、「ユーザー調整メニュー」（168 ページ）を参照してください。

☐☑伸縮・ウインチとの併用操作中に起伏シリンダが全伸長して自動停止するときは、起伏緩停止機能の選択状態により次のように作動します。

- 起伏緩停止機能無効時……………ブーム上げ作動が停止すると同時に、他の作動も停止します。
- 起伏緩停止機能有効時……………ブーム上げ作動のみが緩停止し、他の作動は継続されます。

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: [www.heydownloads.com](http://www.heydownloads.com) by clicking the link below



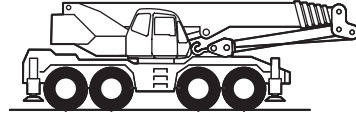
- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

# フックの取り出しと格納

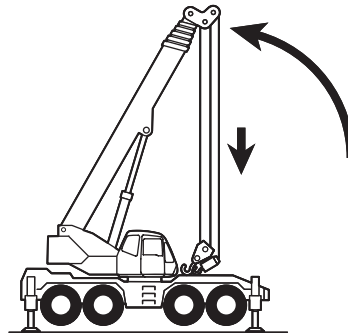
## フックの取り出し

1. アウトリガを張り出し、クレーンを水平に設置します。



K00999-000

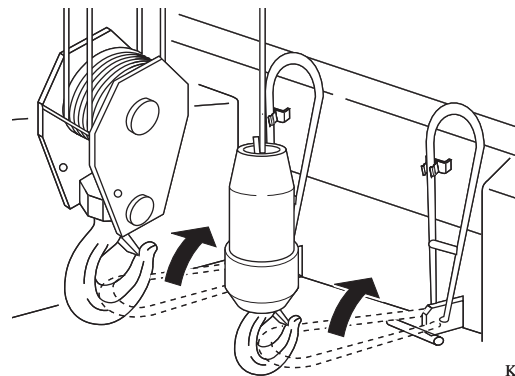
2. ブーム上げ、主巻ウインチ巻き下げ、補巻ウインチ巻き下げ操作を併用しながら、フック掛用金具が外せる位置までブームを上げます。



K01000-000

3. 主巻フックおよび補巻フックからフック掛用金具を外して、旋回台前面に格納します。

重要
フック掛用金具を旋回台前面に格納しないと、旋回操作中に車体と接触して金具が損傷します。



K00550-000

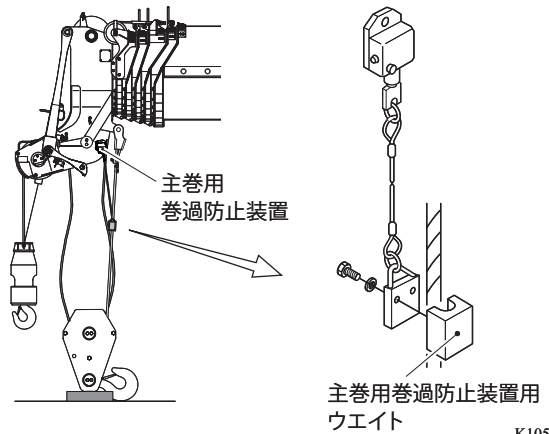
4. ドラム上のワイヤロープが乱巻きしていないことを確認します。

10. ロープソケット側のワイヤロープに主巻用巻過防止装置用ウエイトを取り付けます。

**警告**

スパナを使用して確実に締め付けてください。取り付けが不十分だと、ウエイトが落下して事故を起こします。

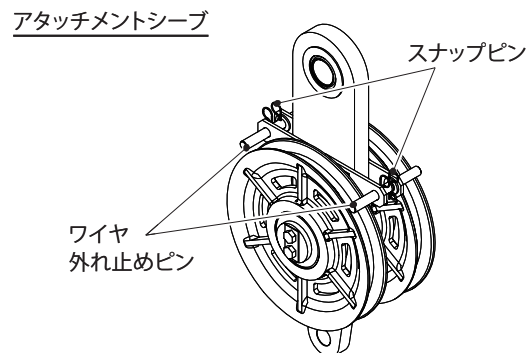
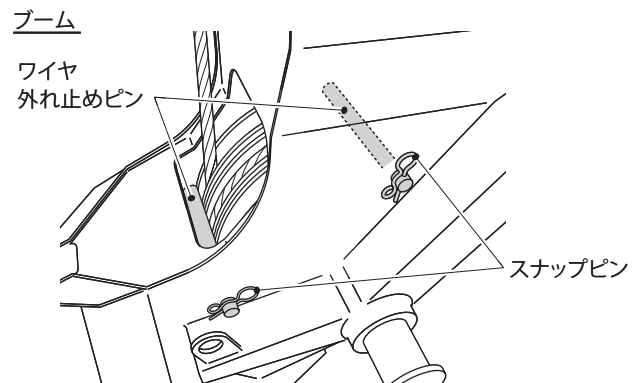
- ☞ 重荷重装置を使用するときは、主巻用巻過防止装置と補巻用巻過防止装置の両方を付け替えます。詳しくは、「ブーム（重荷重装置使用時）」（234 ページ）を参照してください。



K10590-00J

11. ブーム先端部のワイヤ外れ止めピン（2本）を取り付け、スナップピンで固定します。

- ☞ 重荷重装置を使用するときは、アタッチメントシーブのワイヤ外れ止めピン（2本×2カ所）を取り付け、スナップピンで固定します。

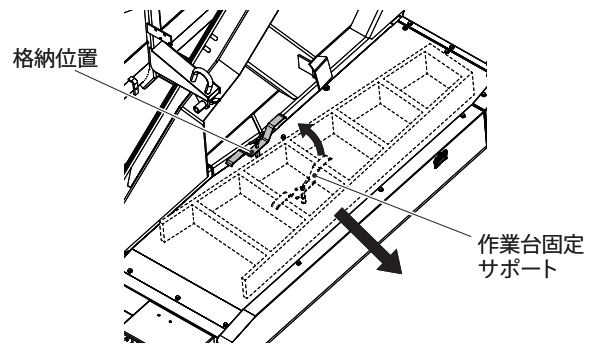


K08849-01J

2. 作業台を取り外し、作業台固定サポートを格納位置に取り付けます。

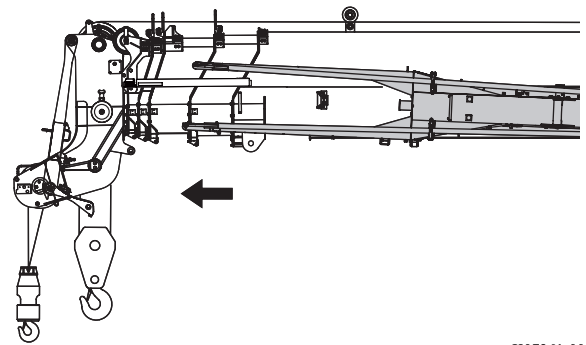
### 重要

作業台固定サポートを格納位置に取り付けないで、ジブサイドアップ振り出し操作を行うと、ジブと作業台固定サポートが接触し、機械を損傷します。



K08738-00J

3. ブーム角度をいっぱいまで下げて、ブームを約1m 伸長します。

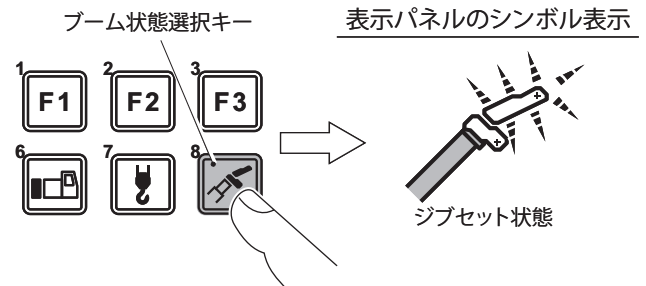


K07361-00J

4. AML にジブセット状態を登録します。  
 ●ジブ状態シンボルが点滅します。

### 重要

AML にジブセット状態を登録すると、フックが巻過状態になっても自動停止しません。

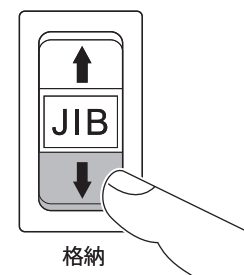


K00418-00J

5. ジブサイドアップ振出/格納スイッチの「格納」を押して、サイドアップシリンダを全縮小します。

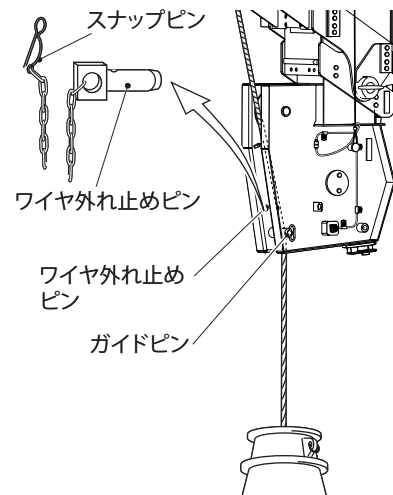
☞ジブセット格納ピンDを抜きやすくするために、行います。

ジブサイドアップ  
振出



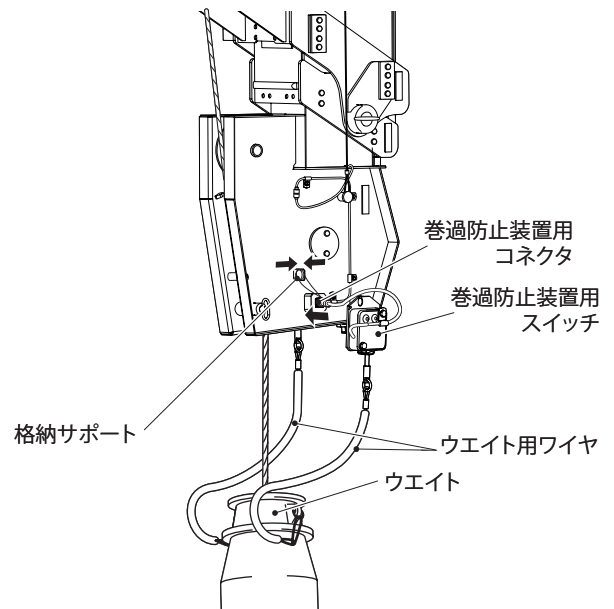
G48008-00J

- 35.** 補巻ワイヤロープをジブ先端のシーブとガイドピンに通します。  
ワイヤ外れ止めピンを取り付け、スナップピンで固定します。



K07366-02J

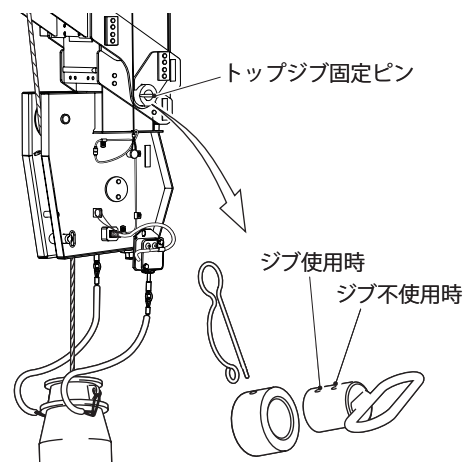
- 36.** ジブ先端に巻過防止装置用スイッチを取り付けます。  
巻過防止装置用コネクタを接続し、外したお互いの防水キャップは格納サポートに両側から挿し込んで固定します。  
ウエイト用ワイヤとウエイトを接続します。



K08853-01J

- 37.** トップジブ固定ピンをジブ使用時の位置にセットします。

☞ トップジブ固定ピンは、ジブ使用時と不使用时で差し込み量が異なります。

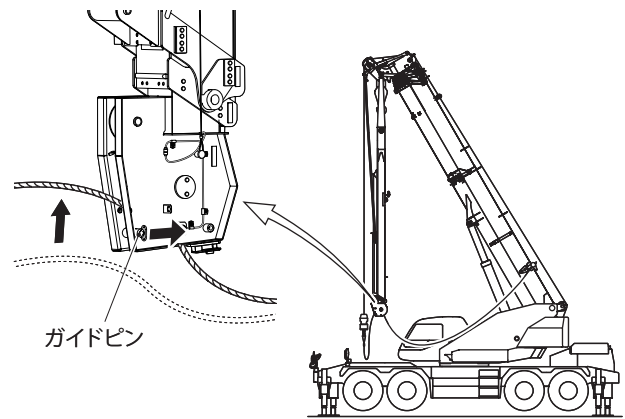


K07368-02J

9. 付属の補助ロープをシーブとガイドピンの間に通します。補助ロープのもう一方を補巻フックに取り付けます。

### 重要

補助ロープはジブ先端に確実に通し、外れないようにしてください。ジブから外れると、ジブを格納するときに前方に大きく振られます。



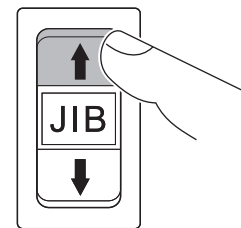
K07373-01J

10. ブーム角度が  $75^{\circ}$  ~  $80^{\circ}$  になるまでブームを上げます。

11. ジブサイドアップ振出 / 格納スイッチの「振出」を押して、サイドアップシリンダを全伸長します。

☑ ジブロック装置（自動ピン）が確実に働くようにするために行います。

ジブサイドアップ  
振出



格納

G48064-00J

## ブーム長さ 16.6m 以上でジブ張出 / 格納操作を行うとき

### ⚠ 警告

目視が困難な上空での作業になるため、作業場所の状況に十分注意してください。作業場所の状況に注意を払わないまま機械を操作していると、人身事故や機械を損傷する原因になります。

### 重要

ジブチルト操作は、始動・停止に若干の遅れが出ることがあります。遅れを考慮して操作してください。

### ジブセット状態での安全制御

ブーム長さ 16.6m 以上でジブ張出 / 格納操作を行うときは、目視が困難な上空での作業になるため、次の安全制御を設けています。

#### • 巻過防止機能

### 重要

ブーム長さ 16.6m 未満では、フックが巻過状態になっても自動停止しません。

ブーム長さ 16.6m 以上では、巻過状態になると警報（ホロホロ音）が鳴り、危険側への作動が停止します。

#### • ジブ張出領域外れ防止機能

### 重要

ブーム長さ 16.6m 未満では、操作制限を行いません。

ブーム長さ 16.6m 以上でジブ振り上げ角度が 30° 未満になると、ジブ張出 / 格納可能アイコンが点滅表示し、ブーム伸長・ブーム下げ・ジブチルト下げ・ジブ伸縮操作を制限します。

☞補巻ワイヤロープとジブ先端ガイドピンの接触によるワイヤロープ損傷防止のため、操作を制限します。

17. テンションロッド固定ピンを外します。外した固定ピンは格納サポートに格納し、スナップピンで固定します。

**▲ 注意**

テンションロッド固定ピンを抜くときは取っ手を持ってテンションロッドを支えてください。取っ手以外を持つと指を挟み、けがの恐れがあります。

**重要**

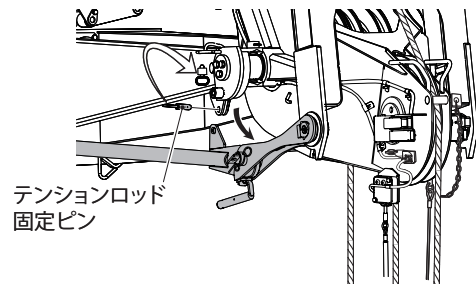
テンションロッド固定ピンは下から上に向けて差し込んでください。上から下に向けて差し込むと、ジブ作業中にテンションロッド固定ピンが脱落する恐れがあります。

☞ テンションロッドの荷重が掛かるため、テンションロッドが十分下がるまでは取っ手が重くなります。

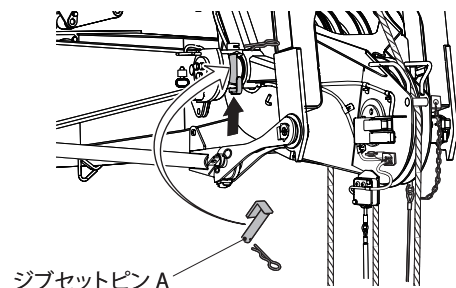
18. ジブセットピン A を抜きます。ジブセットピン A をジブ根元に下から上に向けて差し込み、スナップピンで固定します。

**重要**

ジブセットピン A は下から上に向けて差し込んでください。上から下に向けて差し込むと、ジブ作業中にジブセットピン A が脱落する恐れがあります。

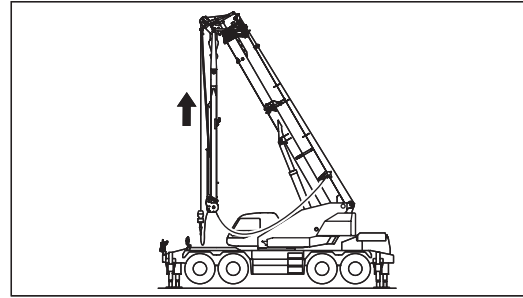


K08023-01J

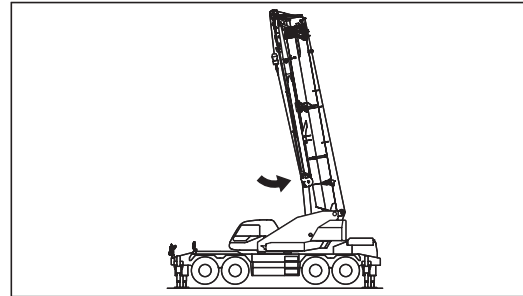


K08024-01J

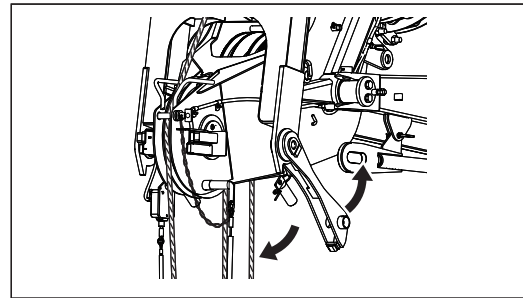
3. 補助ロープを取り付け、ジブをブームに固定する準備をする。  
(手順 7. ～ 11.)



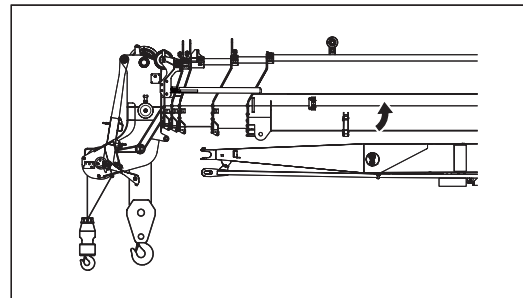
4. ジブをブーム下面に引き込み、ブームに固定する。  
(手順 12. ～ 14.)



5. ジブセットピンを抜き、ブーム先端のリンクとテンションロッドを取り外す。  
(手順 15. ～ 30.)



6. ジブをブーム下面から側面に引き寄せ、ブームに格納する。  
(手順 31. ～ 39.)



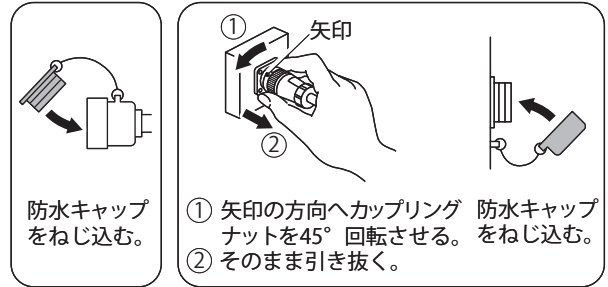
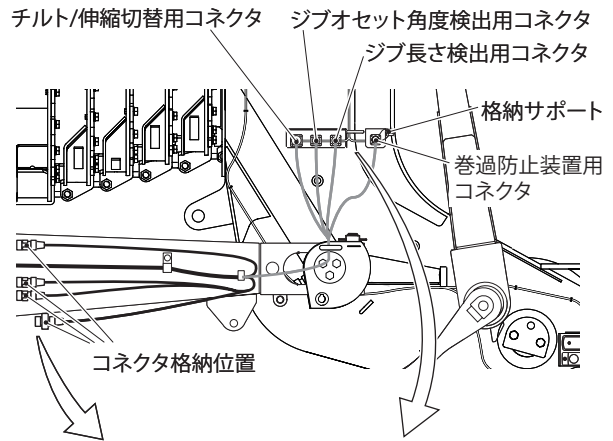
ジブ格納完了

K08041-01J

**28.** チルト / 伸縮切替用、ジブオフセット角度検出用、ジブ長さ検出用コネクタは、防水キャップをしてコネクタ格納位置に格納します。巻過防止装置用コネクタは、格納サポートから防水キャップを外し、外したコネクタに防水キャップをしてコネクタ格納位置に格納します。

**重要**

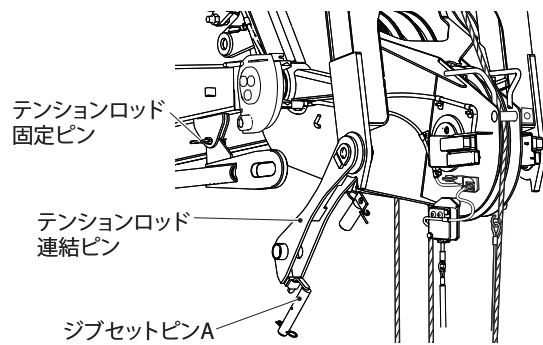
配線を抜くときはコネクタ自体をつかみ、コードを引っ張って抜かないでください。断線の原因になります。



K08856-00J

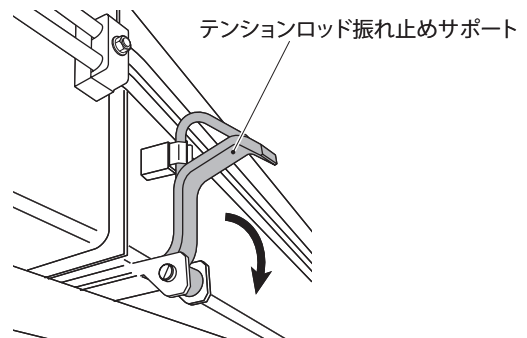
**29.** 手順 24. ~ 27. を参照し、ブーム右側のテンションロッドを格納します。

☞ ジブセットピン A は手順 35. で使います。



K08037-01J

**30.** 左右のテンションロッド振れ止めサポートを取り付けます。



K00471-00J



## 定期交換部品

### 警告

定期的な交換を怠ると、機械の故障や事故につながります。定期交換部品は決められた点検基準、交換時期で交換してください。

機械の部品には、長期間使用しているうちに品質が劣化したり、摩耗したりする部品があります。これらの部品の中には、外観上異常がなくても、内部の劣化が進んでいるものもあります。機械を長く安全に使用するために、機能に異常がなくても、定期的に交換しなければならない部品を「定期交換部品」としています。

交換はタダノ代理店または販売店に依頼してください。定期交換部品は交換時期前であっても、異常が発見されたときは交換してください。交換時期はアワーメーターの時間、または期間のいずれか早い方で実施してください。

### 重要定期交換部品

安全上重要な役割を果たしている部品と交換時期を記載しています。

これらの部品は使用限度があり、内部からの劣化は点検できません。定期的な交換が実施されていないと重大事故につながる恐れがあります。また保証の適用外となる場合があります。適切な時期に交換してください。

#### 車両部（油脂液・エレメント類）

車両の油脂液類・エレメント類の交換期間は、経過期間と稼働時間で定めています。

車両の寿命、性能に影響しますので、指定銘柄の油脂液類・エレメント類を使用してください。銘柄は「給油脂」（453 ページ）を参照してください。

装置名	重要定期交換部品の名称	交換時期	初回交換	備考
かじ取り装置	ラインフィルタ (ステアリング・スイング用ポンプ回路)	2年または 2,400 時間		(*1)
	ラインフィルタ (ステアリング上部回路) (ステアリング切替回路)	2年または 2,400 時間		
制動装置	ブレーキ液	1年または 1,200 時間		
動力伝達装置	トランスミッションオイル	1年または 1,200 時間	1 カ月 (100 時間)	
	トランスミッションフィルタ			
	デファレンシャルオイル	2年または 2,400 時間		
	アクスルハブリダクション部オイル			
原動機	エンジンオイル	500 時間		(*2)
	オイルフィルタ	500 時間		
	クランクケースブリーザーフィルタ	2,000 時間		
	エアクリーナエレメント	(*3)		
	フューエルフィルタ	500 時間		
	冷却水 (ロングライフクーラント)	2年または 2,000 時間		
	冷却水フィルタ	6 カ月または 500 時間		
作動油タンク	作動油	4年または 4,800 時間		
	作動油フィルタ (リターン)	2年または 2,400 時間		(*1)
	エアブリーザーキャップ	6 カ月または 600 時間		
リターンフィルタ (作動油タンク前方)	2年または 2,400 時間			
空気圧発生装置	エアドライヤの乾燥剤	1年または 1,200 時間		

(\*1)：定期交換時期またはステアリングフィルタ警告灯点灯時に交換してください。

(\*2)：詳細は別冊のエンジン取扱説明書を参照してください。

(\*3)：ダストインジケータに赤シグナルが出たときに交換してください。

## 点検整備時期（クレーン部）

次の表に、日常（作業開始前）点検、定期自主検査（1カ月以内ごと、1年以内ごと）の点検整備項目を記載しています。

この取扱説明書には、お客様にさせていただき日常（作業開始前）点検の手順を記載していますので、機械を運転する前に点検を行ってください。手順については「作業開始前点検」（363ページ）を参照してください。

○：タダノ指定点検

◇：タダノ指定シビアコンディション

(\*1)：4,800時間または4年ごとに分解して点検する。基礎工事、港湾荷役作業等で使用しているときは、2,400時間または2年ごと。サンドブラスト等、塵埃の多い場所で使用しているときは、適時エアブローでブーム内の塵埃を取り除く。

(\*2)：定期点検時に、適正な張力を加える。

点検整備項目			点検整備時期			備考
			日常点検	1カ月以内ごと	1年以内ごと	
点検箇所	点検項目					
油圧発生装置	PTO 装置	作動、油漏れ	○	○	○	
		取り付け、損傷、発熱、異音		○	○	
	配管、ホース	油漏れ、劣化	○	○	○	
		取り付け、異常振動、発熱、異音		○	○	
	作動油タンク	油量	○	○	○	
		取り付け、亀裂、汚れ、油漏れ		○	○	
		エアブリーザの目詰まり、汚れ		○	○	
	フィルタ、ケース	目詰まり、油漏れ、損傷		○	○	
	油圧ポンプ	作動、油漏れ、異音	○	○	○	
		取り付け、緩み、亀裂、損傷		○	○	
操作バルブ	油漏れ	○	○	○		
	取り付け、作動、緩み		○	○		
オイルクーラー	取り付け、モータの作動、緩み、油漏れ、損傷、異音		○	○		
アウトリガ装置	アウトリガ内箱、外箱	取り付け、損傷	○	○	○	
		作動、曲がり、亀裂、打痕		○	○	
		アウトリガ構造部位の損傷、摩耗、破損、変形、異音		◇		
		溶接構造部位		◇		
	重要構造物の取り付け部（ピン、ボルト等）		◇			
ジャッキシリンダ (保持弁を含む)	作動、油漏れ、自然降下	○	○	○		
	取り付け、緩み、損傷、自然縮小		○	○		

## ブレーキ液の量

**警告**

- ブレーキ液が減ると、ブレーキがきかなくなり事故を起こす恐れがあります。液面が低下しているときは、ブレーキ系統に液漏れがないか点検してください。液漏れしているときはタダノ代理店または販売店で修理を受けてください。液漏れがなく液面が低下しているときは、ディスクブレーキパッドの摩耗が考えられますので、パッドの摩耗点検を併せて行ってください。
- 「タダノ純正ブレーキフルード」は、グリコール系のブレーキ液です。誤ってシリコン系や鉱物系のブレーキ液を使用すると、パッキン類を侵してブレーキがきかなくなります。「タダノ純正ブレーキフルード」以外のブレーキ液は使用しないでください。

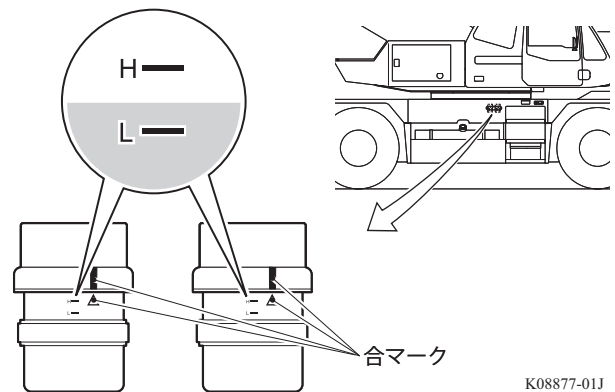
**重要**

- 銘柄の異なるブレーキ液を混用しないでください。混用すると性状が変化してブレーキシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。ブレーキ液は「タダノ純正ブレーキフルード」を使用してください。
- キャップを外すときはキャップの周囲を清掃してください。
- ブレーキ液リザーバーに異物が沈殿しているときは、タダノ代理店または販売店で点検・整備を受けてください。
- 補給の際、こぼれた液が塗装面に付着すると塗装がはがれる原因になりますのですぐに拭き取ってください。
- ブレーキ液は吸湿性が強いので、交換、補給には、未開封の新品を使用してください。

1. ブレーキ液リザーバー内の液量が規定の範囲内にあるか点検します。

☞ 液面が「H」と「L」の線の間であれば適量です。

2. 不足しているときは、配管系に液漏れがないことを確認します。ブレーキ液リザーバーのキャップを外し、ブレーキ液を「H」の線まで補充します。



K08877-01J

**重要**

「H」の線を越えると、液漏れの原因になりますので注意してください。

3. 補充後はキャップとタンクの合マークが合う位置までキャップを締め付けます。

## フットブレーキの作動具合

### エア圧力・上がり具合

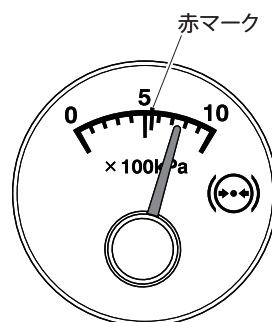
#### ⚠ 警告

走行前にエア圧力計が赤マーク（規定圧力の下限）以下を指し、エア低圧警告灯が点灯しているときは、走行を禁止します。  
フットブレーキの制動力低下や、パーキングブレーキの引きずりを起こし、事故の原因になります。  
エア圧力が規定圧力になり、エア低圧警告灯が消灯してから発進してください。

エア圧力計の指針が規定値（赤マーク）を超えていることを確認します。

エア圧力が上昇しなかったり、上昇に時間がかかるときは、タダノ代理店または販売店で整備を受けます。

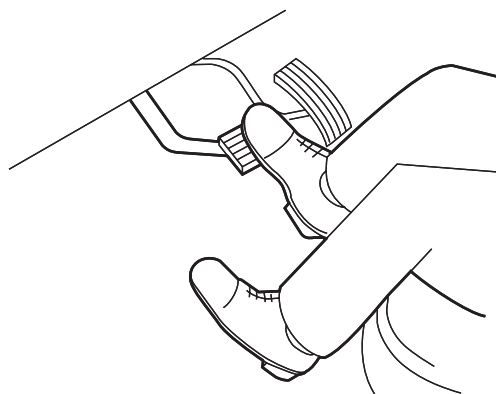
☑ エンジン停止状態でエアタンク内のエアを全部排出してからエンジンを始動し、アイドリング回転でエア圧力計の指針が規定値（赤マーク）を指すまでの時間が6分以内であれば正常です。



K00330-00J

### ブレーキペダルの踏みごたえ

1. エンジンをかけた状態でブレーキペダルをいっばいに踏み込んだとき、踏みごたえが適切であることを確認します。
2. ペダルから足を離したときに、ペダルが引っかかりなく完全に戻るか点検します。
3. 異常があるときは、タダノ代理店または販売店で整備を受けてください。



G16003-000

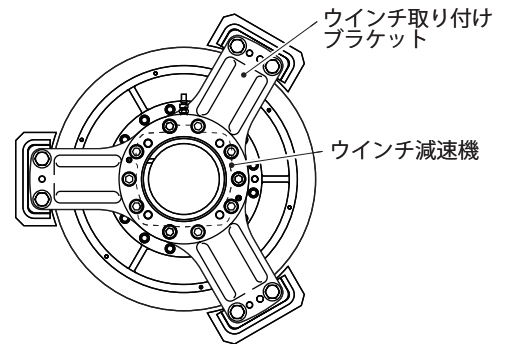
## つり上げ装置

☐主巻ウインチおよび補巻ウインチの両方で行ってください。

### ウインチの損傷

ウインチ減速機・ウインチ取り付けブラケットの変形、損傷がないか確認します。

変形、損傷があるときは、タダノ代理店または販売店で点検・整備を受けてください。



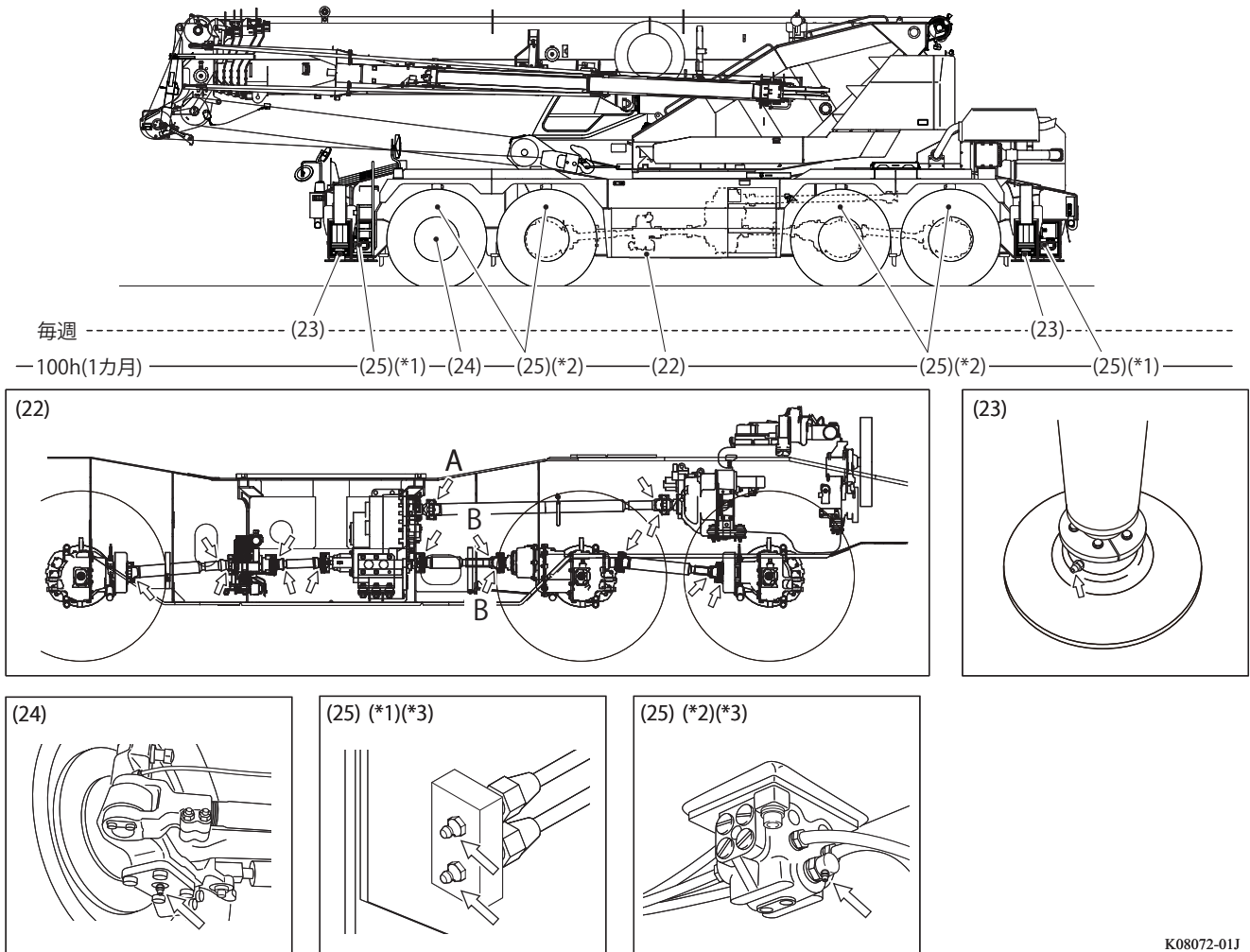
K08881-02J

### ウインチの作動状態、油漏れ

1. ウインチ巻き上げ / 巻き下げ操作を行い、ウインチの作動状態を確認します。
2. ウインチ操作後、ウインチから油漏れがないか確認します。

作動状態の異常および油漏れがあるときは、タダノ代理店または販売店で点検・整備を受けてください。

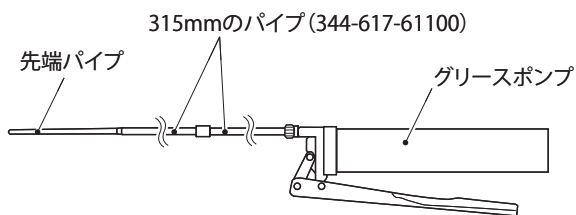
## 下部



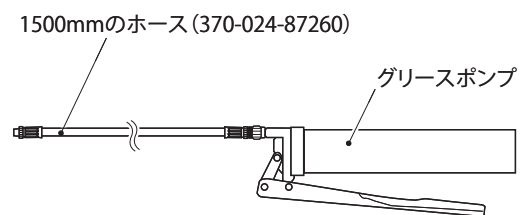
K08072-01J

A 部の給脂にはグリースポンプの先端パイプを外し、315mm のパイプを 2 本継ぎ足してください。

B 部の給脂にはグリースポンプの先端パイプを外し、1500mm のホースをつないでください。



G66003-07J



G66004-07J

(\*1) : FE0864 号機以降に適用

(\*2) : FE0863 号機までに適用

(\*3) : グリースポンプのレバーポンピング回数は 377 ページを参照してください。

## DPF

## ▲ 注意

走行直後は排気管やDPF本体が高温になっているため、やけどをする恐れがあります。素手で触れる程度まで冷えてから作業を開始してください。

## 整備表

No.	項目		数量	点検・整備間隔					
				毎週	6カ月	1年	2年	3500h	5000h
1	DPF フィルタ	フィルタ点検・清掃 および交換 (*1)	1カ所						●

(\*1)：フィルタ点検・清掃および交換は、タダノ代理店または販売店へお問い合わせください。

# ブレーキシステム

## 警告

- 銘柄の異なるブレーキ液を混用しないでください。混用すると性状が変化してブレーキシステムに悪影響を及ぼし、事故の恐れがあります。ブレーキ液は「タダノ純正ブレーキフルード」を使用してください。
- 「タダノ純正ブレーキフルード」は、グリコール系のブレーキ液です。誤ってシリコン系や鉱物系のブレーキ液を使用すると、パッキン類を侵してブレーキがきかなくなり、事故の恐れがあります。「タダノ純正ブレーキフルード」以外のブレーキ液は使用しないでください。

## 重要

ブレーキ液を交換、補充する際は、開封されていない新品を使用してください。

## 整備表

No.	項目	数量	点検・整備間隔				
			毎週	100h 1カ月	300h 3カ月	600h 6カ月	1200h 1年
1	ブレーキ液リザーバー ブレーキ液交換	2.1L					●
2	ディスクブレーキパッド 摩耗点検	8カ所			●		
3	エアドライヤ 乾燥剤交換	1カ所					●

## ブレーキ液リザーバー

### 警告

ブレーキ液は吸湿性が強いいため、長期間使用するとベーパーロック現象を起こし、事故の原因になります。決められた間隔で交換してください。

## ブレーキ液交換

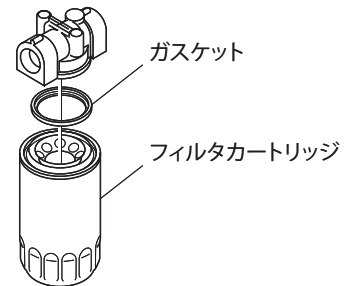
ブレーキ液交換は、タダノ代理店または販売店に依頼してください。

## リターンフィルタ（作動油タンク前方）

### 交換

1. ストラップレンチを用いてフィルタカートリッジを取り外します。

☞ フィルタカートリッジを取り外すと、作動油が少し漏れます。ウエスを敷いておいてください。



2. ガasketに薄く作動油を塗り、新しいフィルタカートリッジを取り付けます。  
締付トルク：11.7～15.7N・m {1.2～1.6kgf・m}

G76005-00J

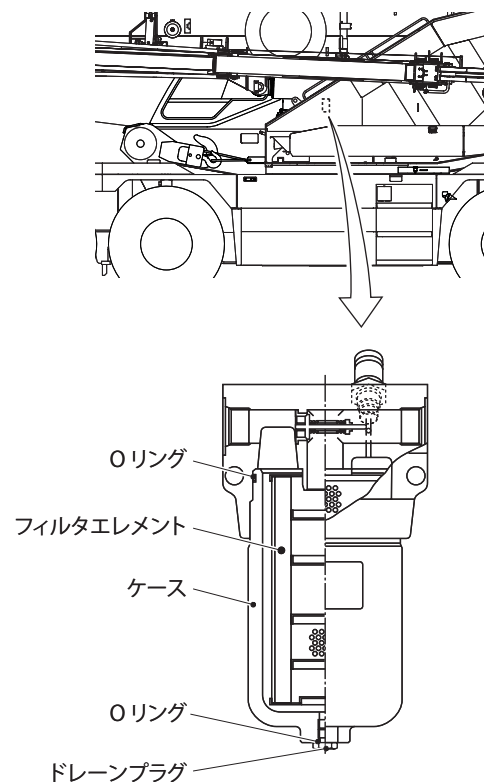
## ラインフィルタ（ステアリング・スイング用ポンプ回路）

### 交換

1. 機械を平坦な場所に設置し、エンジンを停止します。
2. 旋回台中央部ロータリジョイント上のカバーを取り外します。
3. ラインフィルタのドレーンプラグを取り外してオイルを抜きます。

☞ ケース内にはオイルが約1.5L入っています。

4. ケースを取り外します。
5. フィルタエレメントをヘッドから取り外します。
6. 新しいフィルタエレメントをヘッドに取り付けます。



K08888-00J

## Vベルト

### 点検

ベルトの張り具合、損傷の有無を点検します。

重要	
•	調整後はボルト、ナットをしっかりと締め付けてください。
•	ベルトを張り過ぎないでください。ベルトやベアリングを損傷します。
•	ベルトに油脂をつけないでください。スリップしてベルトの寿命を縮めます。

点検方法	ベルト中央部を約 98 N (10 kgf) の力で押したときのたわみ量	ベルトテンションゲージ
点検時	9 ~ 12.5 mm	265 ~ 441 N (27 ~ 45 kgf)
新品取付時	6.5 ~ 9 mm	451 ~ 666 N (46 ~ 68 kgf)

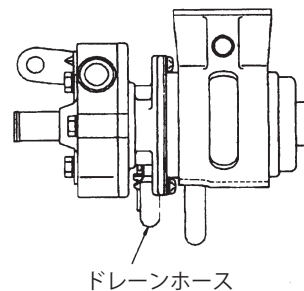
### 定期交換部品

エアコン装置を安全に使用するため、次の部品を定期的に交換してください。交換作業はタダノ代理店または販売店に依頼してください。

定期交換部品	交換時期
レシーバドライヤ	4年ごと
ブロワモータ	5,200時間ごと (使用状態により異なります)
電動ファンモータ	
ウォータポンプ	2,300時間ごと (使用状態により異なります)

### ウォータポンプ

ウォータポンプのドレーンホースから、冷却水（ロングライフクーラント）が少量漏れる場合がありますが、機能上問題ありません。



K08873-00J

# MEMO

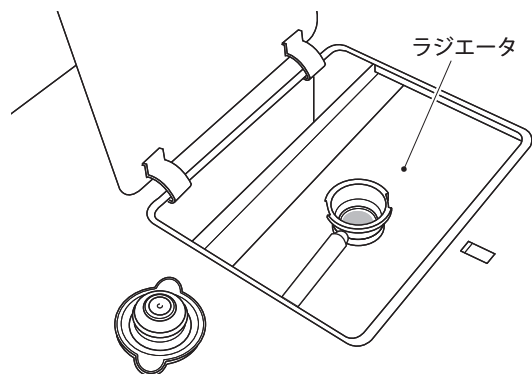
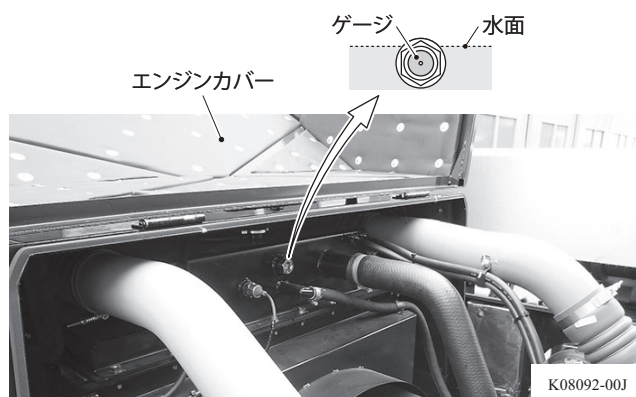
4. エンジンカバーを開き、冷却水量を点検します。ゲージが冷却水で満たされていれば適量です。不足しているときはラジエータのキャップを外し、冷却水を補給します。

**警告**

ラジエータのキャップを外すときは、冷却水温が十分に下がってからキャップを布などで覆い、ゆっくりと開けてください。不用意に外すと熱湯や蒸気が噴き出し、やけどをする恐れがあります。

**重要**

オーバーヒートしたエンジンに冷たい水を急に入れると、エンジンに亀裂が入ることがあります。ゆっくりと少しずつ補給してください。



5. 水漏れ、ファンベルトの損傷、緩み、ラジエータの目詰まりなどを点検します。

## 主要諸元

### クレーン仕様

#### 最大定格総荷重

作業状態	最大定格総荷重	作業半径 / 角度	標準巻掛本数
9.8m ブーム	70,000kg	2.1m	8 × 2
16.6m ブーム	32,000kg	5.5m	8
23.5m ブーム	24,000kg	5.5m	6
30.3m ブーム	12,500kg	10.0m	4
37.2m ブーム	12,000kg	10.0m	4
41.2m ブーム	10,000kg	11.0m	4
44.0m ブーム	8,200kg	12.0m	4
8.4m ジブ	4,000kg	77°	1
13.1m ジブ	2,800kg	74°	1
17.7m ジブ	1,500kg	84°	1
シングルトップ	5,000kg	-----	1

#### 揚程・長さ・角度・速度

項目		データ
最大地上揚程	ブーム	45.2m
	ジブ	63.0m
最大作業半径 (標準性能)	ブーム	34.0m
	ジブ	39.8m
最大作業半径 (前方特別性能)	ブーム	40.0m
	ジブ	45.5m
ブーム長さ		9.8m ~ 44.0m
ブーム伸長速度		34.2m/124s
ジブ長さ		8.4m ~ 17.7m
ワイヤロープ巻き上げ速度	主巻	131m/min (5層)
	補巻	114m/min (3層)
フック巻き上げ速度	主巻	16.3m/min (8本掛)
	補巻	114m/min (1本掛)
ワイヤロープ巻き下げ速度 (参考)	主巻	標準：131m/min (5層)
		高速：201m/min (5層)
	補巻	標準：114m/min (3層)
		高速：174m/min (3層)
ブーム起伏角度		0° ~ 84.0°
ブーム上げ速度		0° ~ 84.0° /58s
旋回角度		360° 連続
旋回速度		2.1min <sup>-1</sup> {rpm}

### キャリヤ仕様

項目	データ
エンジン	Cummins QSL9
総排気量	8.9L {8,900cc}
最高速度	49km/h

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: [www.heydownloads.com](http://www.heydownloads.com) by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL